



文化博物館だより 第306号

2009年11月26日

みなさん、こんにちは。2009年11月も、残り4日。今年もあと、35日です。

● 発掘された明石の歴史展の講演会とシンポジウム

企画展の基調講演が、21日(土)の午後1時から2時過ぎまで、休憩をはさんでシンポジウムが午後2時30分頃から行われました。多くの方々にご参加いただき、会場はほぼ満席状態。

明石原人の根拠とされる寛骨は、西八木海岸で直良信夫によって発見されましたが、戦災で焼けてしまい、実物は残っていません。当館にある複製は鑑定のため東京大学に送られた時に作られたもので、これが残っていたため明石原人の存在についての論争が現在まで続いているのです。



基調講演(春成秀爾氏)

基調講演とシンポジウムでのお話から、比較対象となる原人の骨や他の資料の発見が十分でない現在では、完全に否定もできないのだと思えました。参加された方々も残されたロマンの可能性を信じたくなくなったかも知れませぬ。



シンポジウムの様子

● 『中島由夫展』 B1 サイズのポスターを貼ってください！

新春特別展『中島由夫展』のアピール用 B1 サイズ(ノート 16冊分)のポスター。これを多くの方に見てもらえる場所に貼ってくださる方を募集します(限定 50名 1人 1枚)。

一般家庭除く、お店や会社などで近隣の場所に掲示可能な方。大きいので、出来れば取りに来て下さるとありがたいです！お礼に新春特別展の招待券をペアでさしあげます。12月10日(木)までに当館(Tel. (078) 918-5400)にご連絡ください!! よろしくお祈りします!!



大きさは、バスタオル程度(?)とでも申しましょうか...

ポスターは、現在、当館にも掲示しています。「どんなのかな～」と思われた方は、美術展後期の展示も開催中ですので(～29日午後4時まで)、来館される際に、ご覧になって下さいね！